

地域づくり最前線

地域おこし協力隊 第1号は藪内さん！

都会出身の若者が地方に移住して地域おこしに取り組む「地域おこし協力隊」として、奈良県出身の藪内慎也さん(35歳)が4月に着任し、上郷町を拠点に活動を開始しました。遠野での同隊員は、藪内さんが第1号。藪内さんは、青年海外協力隊としてジャマイカで活動した経験や、釜石市や宮城県名取市で復興支援活動に取り組んだ経験があり、パイタリティーにあふれる青年です。遠野では、主に農業の活性化に取り組みます。



遠野市民として、皆さんと一緒に地域おこしに取り組めます。よろしくをお願いします！

地域おこし協力隊員
藪内 慎也 さん
=奈良県出身、上郷町在住=(35歳)

- 1_ テープカットで同館の完成を祝う関係者ら
- 2_ 児童を代表して、元気にあいさつをする松田さん(左)と金濱さん
- 3_ 遠野児童館一輪車クラブのメンバーによる演技発表。新しい遊戯室で優雅な踊りを披露しました



新たな子育て支援の拠点

遠野児童館で落成式開催

遠野児童館は3月21日、遠野小の旧体育館跡地に完成し、現地で落成式が行われました。式典には、同館を利用する児童やその保護者ら70人が出席。テープカットや一輪車の演技発表などで完成を祝いました。児童を代表し、遠野小3年の松田七海さんと金濱瑠香さんは「きれいに使い続けるために掃除を頑張り、友達と元気に遊びます」と誓いました。

同館は木造平屋建て、延べ床面積は286平方メートル、総事業費は8,377万円。遊戯室や図書室、集会室などを整備し、子育てサークルの活動拠点としても活用されます。



みらい創りカレッジ通信

開校1周年記念で ゴブリンや妖怪登場！

開校1周年記念の春キャンプを4月25・26日の2日間、遠野みらい創りカレッジで行ないました。今回の春キャンプは、学校を探検しながらゴブリンを見つけたり、作ったりするワークショップや妖怪に関する講演会などを開催。地元の小学生や大人など50人が参加し、大盛況でした。開校2年目の今年も、多くの人に参加できるように

カリキュラムを充実させていきますので、よろしくをお願いします！



大盛況だったゴブリン作り



ごみを拾って川柳を一句

田瀬湖の周辺で清掃活動

ごみを拾い、浮かんだ思いを川柳で表現する「第3回田瀬湖一斉清掃 & ごみ川柳大会」(同実行委員会主催)は4月26日、花巻市の東和B & G海洋センターで行われました。本市と花巻市から参加した150人は、清掃活動や川柳大会を通じて、河川環境の保護に理解を深めました。清掃活動は手作業で行われ、2時間で1.6トンのごみを回収。ごみを拾った後は、それぞれの思いを川柳にしたため、その場で入賞作品が発表されました。保坂恭太郎くん(土淵小3年)は「ごみの量に驚きました。ごみがない場所から見える風景はきれいで気持ちがいいです」と汗をぬぐいました。

- 1_ 澄み切った青空の下、田瀬湖を背景にハイチーズ
- 2_ 大きなタイヤもゴロゴロと。子どもたちも懸命にごみ拾い！
- 3_ 回収後は、分別作業にも汗を流しました



ごみ川柳入賞作品

ゴミ拾い つなぐ国体
田瀬湖畔



- 1_ 遠野駅では、ざしきわらし隊をはじめとするおもてなし隊が乗客を歓迎
- 2_ 乗客一人ひとりに記念品が手渡されました
- 3_ ひつみ汁の無料振る舞いには長蛇の列が
- 4・5_ 宮守駅ではカントリーダンスと下郷さんさ踊りが披露されました



暮らしや伝統を学びたい

13人目の協力隊員着任

NPO法人地球緑化センターが派遣する「緑のふるさと協力隊」として着任した秋山菜保子さん(23)は4月13日、とびあ庁舎を訪れ、本田市長に着任のあいさつをしました。秋山さんは東京都出身で、現在明治大学大学院の2年生。建築学を専攻し、大学院では空き家の利活用について研究しています。遠野での暮らしや伝統文化を学びたいと大学院を休学し、同協力隊に応募。秋山さんは「自然に囲まれた生活に憧れていました。農業や郷土芸能などに挑戦し、自分が体感する遠野の魅力をさまざまな人に発信していきたい」と期待に胸を膨らませました。



本田市長に意気込みを語る秋山さん

100歳誕生日に満面の笑顔

土淵町の沖館さんが100歳

土淵町の沖館一司さんの100歳を祝う会は4月10日、青笹町のウエディングパレス道で開かれました。家族や親せき、沖館さんが現在入所している遠野長寿の郷の職員ら40人が出席。菊池孝二副市長が「いつまでも元気で長生きしてください」と花束と記念品を手渡すと、沖館さんはにっこりとほほ笑みました。沖館さんは、大正4年に同町に生まれ、昭和9年に同町出身のナツさん(故人)と結婚。太平洋戦争などで兵役を経験した後、家業の農業や馬産に励み、3男3女を育て上げました。長寿の秘訣は、好き嫌いせず何でも良く食べることに語っていました。



長寿の秘訣を聞かれ、照れ笑いを浮かべる一司さん